

停電・災害時に備えた人工呼吸器患者支援について

停電・災害時等に備えた人工呼吸器患者支援について

神戸市健康部健康づくり支援課

1. 目的

停電時等に生命維持に影響を及ぼす在宅人工呼吸器使用患者に対し、現状を把握すると共に、平常時から停電や災害時の電源確保、人工呼吸器の作動停止時の対応、有事の避難先の確認など、保健師の訪問による個別支援体制の確保を行う。

2. 対策

- (1) 在宅人工呼吸器装着患者リストの作成
- (2) 停電や災害発生時に備えて在宅人工呼吸器装着患者の準備状況（人工呼吸器・バッテリー使用時間、在宅療養状況等）を把握
- (3) 対象者を訪問し、患者・家族、関係機関と個別災害支援マニュアルの作成
- (4) 関係機関（訪問看護ステーション・主治医・介護保険事業所等）との連携・調整
- (5) 患者・家族への相談・助言（十分なバッテリー時間の確保など）

3. 対象者：区内の在宅人工呼吸器装着患者

*抽出参考リスト

- (1) 特定疾患治療研究事業 臨床調査個人票
人工呼吸器装着の記載がある7疾患
(No 8 筋萎縮性側索硬化症・20 パーキンソン病関連疾患・23 ハンチントン病
・27 多系統萎縮症・38 プリオン病・41 亜急性硬化性全脳炎・44 ライソゾーム病)
- (2) 公害健康被害認定を受けている人工呼吸器装着患者
- (3) 保健師が継続支援を行なっている人工呼吸器装着患者
- (4) 訪問看護ステーションからの情報提供書
- (5) 介護保険認定調査票 等

4. 緊急対応期間

平成24年5月14日（月）～6月15日（金）

以後、継続実施。

災害時・緊急時支援にかかる情報提供同意書

〇〇区保健福祉部部長 様

私は、災害時・緊急時等に支援を受けるため、広く情報提供することの意義について十分説明を受け、〇〇区保健福祉部が災害時または緊急時の支援に必要であると判断した情報について、事前に支援に関わる者へ提供することに同意します。

平成 年 月 日

住所

氏名

印

熱中症に注意

熱中症はこんな状況で起こります

～神戸市の救急搬送の事例等から～

- 閉め切った室内・車内
- 換気の悪いキッチンで調理中
- 湿度の高い風呂場
- 運動場や体育館でスポーツ中
- 暑い時間のウォーキング
- 気密性の高いビルやマンションの屋上
- 炎天下でのベビーカーによる外出
- 工事現場で作業中
- 炎天下におけるイベント
- 花火大会などの人込み

高齢者は
のどの渇きを
感じにくい

エアコンの普及
による体温調節
の働きの低下

神戸は屋内での
発症が多い

生活習慣病に
よる心臓・肺の
働きの低下

防犯のために
窓を閉め切る傾向

こんな人は特に注意

- ・高齢者
- ・乳幼児
- ・持病のある人
- ・肥満のある人
- ・体調の悪い人



熱中症を予防するために

- 窓を開け、風通しをよくしましょう。
- 室温をこまめにはかりましょう。室内温度は 28℃がめやす。体調に合わせて冷房を。
- 首の後ろ、わきの下、足の付け根などを冷たいタオルや氷で冷やし、薄着を心がけましょう。
- のどがかわかなくても、こまめに水分摂取。運動時など、汗をかいたら塩分補給を。
- 朝食はミネラルや水分を含んだ野菜やフルーツをたっぷりと。
- 利尿作用のあるアルコール・カフェイン飲料はほどほどに。
- 外出時は帽子や日傘を使い、日陰を選ぶなど直射日光を避けましょう。
- 炎天下での外出、作業や運動などは避けましょう。
- 子どもは大人に比べて地面からの熱を受けやすく、特に高温になりやすいので、要注意。
- 車の中は非常に高温。車から離れる場合は一時も、子どもだけを車に残さないように。



こんな症状があったら熱中症を疑って、すぐに手当を！

軽度

めまい
立ちくらみ
筋肉痛
汗がとまらない

衣服をゆるめる
体を冷やす
水分・塩分補給

中度

頭痛
吐き気
体がだるい
虚脱感

衣服をゆるめ、体を冷やす
水分・塩分補給
受診

重度

意識がない、けいれん
体温が高い
まっすぐに歩けない
走れない

すぐに救急車を
呼んでください

神戸市保健福祉局